

【CSR 検定 受験にあたっての注意事項】

公正な試験を行い、不正を防止するため、試験中の受験者の動作を継続的に撮影しております。試験中に不正行為を行ったことが判明した場合、或いは、不正と疑わしい行為が判明した場合は失格となります。

事務局は撮影した画像を試験中の不正行為防止や今後のサービス改善のための参考にする以外に利用することは一切ありません。

- ・ 試験中、ウェブカメラで動作や受験環境が適正か判断できるように、適切な照明を点灯してください。
 - ・ 受験中に他の人が映り込まないよう、また、他人の話し声が届かないように間隔を取って受験をしてください。受験者が他人と話したり、近くに他の人がいる場合、失格となる場合がございます。
 - ・ 受験に際してウェブカメラで受験者を撮影し、事務局に動画・音声を送信されて保存されます。プライバシー上、差支えのあるものは、映らない場所に移動してください。
 - ・ 受験中にマイクに雑音や音声が入らないように、周辺の環境にお気を付けてください。
 - ・ 試験中、CSR 検定指定ブラウザを閉じないでください。
-
- ・ 本人の確認不足や怠慢により、試験時間になっても適正に試験システムが動作できない場合は失格となります。利用環境チェック時にご不明な点を解決してください。
 - ・ 事務局は、受験者の通信設備、パソコン等の事情による通信障害や、その他本人の責により受験に不具合が生じた場合の責任は負いかねますので、必ず事前の動作確認を綿密に行ってください。
 - ・ その他、以下の禁止事項に該当する行為があった場合は失格とします。

【CSR 検定 受験にあたっての禁止事項】

以下のような行動が見られた場合、失格となります。

1. 受験登録者以外の者が受験した場合
2. 試験中、受験者が入れ替わった場合
3. web カメラを使用していない場合
4. web カメラの映像が協会へ正しく送信されていない場合
5. 試験中の受験者の確認、受験者の動作の確認、パソコンの画面の確認ができない場合(寝てしまったりして顔が見えず、本人の確認ができない場合も失格となります)
6. 試験中に席を離れた場合 (トイレの場合でも席を離れましたら失格となります)
7. オンライン検定試験システム以外のページを閲覧した場合
8. オンライン検定試験システム以外のアプリケーションを開いた場合
9. テストの説明や試験に関わる画面や内容を保存する、またはそれを疑われる行為を行った場合
10. 試験中に他人と会話した場合(受験者が話していない場合も含む)
11. 試験中に、他の人が、無言であっても、受験者に近寄った場合
12. 試験中に携帯電話及びその他の電子機器を使用した場合 (ただし、試験中のトラブルにより事務局へ連絡をする場合を除く)
13. 試験前の説明で指定されたもの以外(本、参考書、辞書、他)を出していた場合
ただし、ご本人の自己採点のためのメモ用紙として白紙の紙 (最大 A4 サイズまで) 1 枚の持ち込みは可とします。
14. 受験者の目に触れる位置に、試験内容に関連する掲示物が貼付または置いてあった場合
15. 試験中に飲食をした場合
ただし、試験中の水分補給として、水のペットボトル 1 本 (最大 500ml まで) の持ち込みは可とします。試験開始後に席を離れて取りに行くようなことがないよう、事前に机の上にご用意ください。
16. 試験中に喫煙をした場合
17. その他、不正行為を疑われる行為、オンライン試験におけるその他の禁止事項に該当した場合

【特記事項】

※1 ご病気などの止むを得ない事情により席を離れる必要がある場合、また、試験時間中に指定のお薬などを飲む必要がある場合は予め届け出て下さい。なお、これらの場合、診断書が必要になる場合がありますので、お電話で検定事務局にご相談下さい。

※2 試験中のお手洗いについては規定しておりません。それは、お手洗いか否かにかかわらず、上記6の「試験中に席を離れた場合」に該当し、原則として失格となる行為に該当するからです。これは、お手洗いによる離席か、別の理由による離席かの判断ができないとの理由によります。なお、ご病気による離席の場合は、※1によります。

※3 上記12で、試験中に携帯電話の使用を禁じていますが、トラブルが発生して、試験の続行に支障がある場合はこの限りではありません。受験票メールに記載の電話番号までお電話ください。

なお、検定施行後に不正・違反が発覚した場合の措置について検定の施行後、不正な手段による受験や受験の手引きおよび本規約違反が発覚した場合、当該受験者は失格または合格を取り消し、悪質な場合、今後の受験をお断りするなどの対応を取らせていただきます。